

第1回例会  
定期

## 七名の議員団区民要求実現に奮闘

第一回定期区議会は、三月七日から二十七日まで開かれました。今議会では二〇〇二年度予算が審議されました。日本共産党港区議員団の七名は、日頃区民のみなさんから寄せられている要求・要望の実現に奮闘しました。

風見区議は、建設委員会ではバス路線確保を願う請願の採択などがんばるとともに、予算委員会では六回質問に立ち、十六項目の区民要望の実現に奮闘しました。今議会の主な内容をお知らせします。

## 全小中学校の図書館にスタッフが配置

四月から全小・中学校図書館にリーディングアドバイザーが週二日配置されます。区議団は、子ども達が本格的に本に触れるチャンスである学校図書館に司書を配置するよう要求し九六年よりいくつかの学校に補助員が配置され、

また、今回、すべての小・中学校にスタッフが配置されることは望ましいことですが、司書教諭資格者が配置されるのは六校(四小学校、二中学校)にすぎません。これから調べの学習が重視されることになり、児童・生徒のためには司書資格を持つていことが大事なこと。資質を云々するものではないですが、学校図書館には司書資格者の配置を基本にすること。週二日でなく配置日

数を増やすことなどを求めました。それに対し、司書資格があることが望ましいが人材確保が難しい。学校の意見も聞き、一年間の成果を踏まえ検討する。今後の成果を踏まえ検討する」と答えました。また、文部科学省の蔵書基準に満たない八小学校、八中学校に、最低でも蔵書基準を満たす予算をつけること。蔵書充実の予算を国に要求するよう質問しました。教育長は「蔵書の充実・拡大になお一層努めてまいります」と答えました。

## 見事に咲きほころぶ 青山桜

タウンネットワーク  
ク九九号でお知らせしたように、店舗ビルの建設によって伐採されようとした樹齢百年ともいわれる「青山さくら」が住民のみならず、

なさんの粘り強い運動で、青山中学校内に移植されました。この桜が見事に咲きました。毎年、見事な花を咲かし続けてもらいたいものです。(タウン九九号の桜の記事中「ソメイヨシノ」が「ヒメイヨシノ」となっていました。お詫びして訂正します。)

## 港区の財政力はトップクラス

「特養ホームに何年待っても入れない」「介護保険の減免を充実してほしい」「保育園に入れない」「商店や中小企業への支援を」「学校に冷房を」など、港区にはこのような区民の願いを実現する力は十分あります。風見区議は、森ビルなどの開発に莫大な税金をつかうのではなく、区民の税金は区民のためにつかうべきと要求しました。

### 港区の毎年の収支状況(黒字) (百万円以下は切り捨て)

92年度	27億7千万円
93年度	24億8千万円
94年度	21億4千万円
95年度	17億8千万円
96年度	22億8千万円
97年度	31億4千万円
98年度	24億2千万円
99年度	72億3千万円

基金残高(積立金)  
**610億7千万円** (3月31日現在)

森ビルなどの再開発の補助金は予定も含め **213億円**

## 東京湾花火大会

## 往復八ガキの抽選にもどる

ハガキによる抽選にもどすこと。中央区など近隣の開催・運営の協議を、

昨年の花火大会は、商店街連合会に費用負担を押しつけたため、区民から「バガキによる抽選にもどして」など二百件を超える苦情が寄せられました。区議団にも多くの相談がありました。区議団は予算委員会でも、この間の提案も含め、「往復

隣区と開催・運営の協議を、区商連への負担の押しつけはやめること。区内会場警備は区で責任を持ち、仮設トイレを改善すること」を質問。担当課長は「ハガキによる申込みに改善する。会場の仮設トイレなども改善する」と答えました。

# 普通教室への冷房設置は急務 児童・生徒のガマンも限界を超える

の際に、健康への配慮、財政状況など勘案して検討す

都心特有のヒートアイランド現象による暑さは異常です。区議団は長年、普通教室への冷房設置を要求してきました。港区の普通教室への冷房設置は公害対策(騒音対策)として国の補助金の対象となっている六

小学校、四中学校だけです。千代田区では二十年前に全中学校、六年前に全小学校に、中央区では十八年前に全小・中学校に冷房を設置したこと。また小・中学校長会、幼稚園長会、PTA、教職員組合などから要望があり、区議団の質問に区長も本会議で「教育委員会の検討を踏まえ、計画的な整備を」と答弁。風見区議は「(教育委員会の消極的な)姿勢を改め計画的な設置を」と質問しました。しかし、「基本計画の改定

# 「銭湯をこれ以上なくさない」

区内の公衆浴場が次々に廃業に追い込まれ現在八軒、三十数年前から比べると十分の一にまで減少。区民の皆さんから「銭湯がなくなつて困っている」との声が多く寄せられています。港区は公衆浴場への支援策を行っていますが、この間、浴場の区民開放日の削減、無料入浴券交付の対象枠の縮小、施設整備補助の削減など支援策を後退させるなど、浴場への支

援が不十分になっています。予算委員会、地域の公衆衛生、地域コミュニティーの向上に大きな役割を果たし、日本文化の代表的な存在である公衆浴場を守るため、まず「区がこれ以上減らさない」という立ち場に立ち「その上で利用者の拡大策など支援策の強化を計るべき」と強く求めました。区長は、「利用者を拡大するための新たな支援策について港区浴場組合と協議していく。現在の浴場数を確保するよう努めていく」と答弁しました。

# 区民の足 バス路線の確保を求める二つの請願 区民の願い自民・公明など多数で継続扱いに

都バス路線が廃止・縮小され、多くのみなさんが外出の足を奪われ大変な思いをしています。今議会に「麻布地域から区の施設を通るバス路線の確保を求める請願」と「区民要望の強いバス路線の確保を求める請願」が提出されました。

風見区議は、都バス廃止の時から区議会、港区の反対の態度は明確で、都バス路線の確保については引き続き東京都に要請している。また同主旨の請願は昨年九月の議会ですべて一致で採択している。区では千五百万円かけて調査を行う段階になっている。区民、議会、行政の三者が一致している。採択を主張しましたが、他会派は「涙を飲んで継続」と多数で継続審議にしました。区民の切実な願いを棚上げにする態度は許せません。区議団はみなさんと運動を一層ひろげ一日も早くバスが運行できるようにがんばります。

# 要介護者の程度に応じて障害者控除

介護支援課に控除対象認定書申請書の請求を障害者手帳を持っていない控除認定に当たり「介護認定が一定の目安になる」と区長が認めた要介護認定者は、所得税と住民税の障害者控除を受けることができます。風見区議は、区民に周知徹底すること、申請があればしっかりと対応することなどを質問しました。

区民の税金は区民のために活用を 大企業が占用で得る利益に相応しい占用料に 路上パーキングの収入を区に 町の公衆電話を撤去せず、復活を要請せよ 区有施設の耐震補強を計画的に 小規模企業が参加できる契約制度を 介護保険認定者の障害者控除対象の周知を 桜並木保全のため 青山墓地内の区道は休日交通規制を 路外駐車場雨水やゴミ対策などの指導を 市街地再開発は住民全体の合意ですすめよ 公園遊具は安全なものに 神明小跡地の住宅は戸数増を 三田中の雨漏りを大至急直すこと 赤坂中の校地の拡大を 普通教室などに冷房を 介護保険料・利用料の軽減の拡大を

については、必要な調査と情報に基づいて控除の認定書を交付します。これは、確定申告の締切りとは関係なく、さかのぼって申告できます。お問合せは党区議団へ 三五七八ー二九四五